

第2期岩美町地域創生総合戦略の検証について

1. 令和4年度の人口動向

○自然増減

→出生数は年次目標の61人を3人上回る64人だったが、前年比では13人減であり、死亡者数が前年度と比較し3人増加となったことで自然増が増加する結果となった。引き続き、「産み育てる年代」の大きな人口減少とならないよう取り組みを進める必要がある。

○社会増減

→転入者数においては前年度と比較し19人減少となり、社会増が増加する要因となった。転出者数は平成元年度以降最小人数であり、前年度と比較して14人の減少となった。岩美道路の整備に伴い、近年町外からの転入者が増加している中、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けの変更による、住民移動の自粛からのリバウンドによる転出超過の急増とならないよう取り組む必要がある。

(単位：人)

年度		R2 年度	R3 年度 (h)	R4 年度 (g)	増 減 (g)-(h)	参考 H26 年度
人口増減	増 減 (c)+(f)	△179	△130	△151	△21	△226
自然増減	出生者数(a)	66	77	64	△13	60
	死亡者数(b)	191	182	185	3	164
	増減(c)=(a)-(b)	△125	△105	△121	△16	△104
社会増減	転入者数(d)	235	267	248	△19	242
	転出者数(e)	289	292	278	△14	364
	増減(f)=(d)-(e)	△54	△25	△30	△5	△122

2. 「重要業績評価指標(KPI)」の達成度・・・別紙1

第2期地域創生総合戦略に掲げる21項目のKPIについて、令和3年度より改善されたものの、半数以上の12項目で3年目の目標を達成することが出来なかった。

	達成状況	R2 年度	R3 年度	R4 年度
重要業績評価指標(KPI)	達 成	8 項目	7 項目	9 項目
	未 達 成	13 項目	14 項目	12 項目

3. 対応方針

令和3年度と同様に、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、対面での活動自粛や人数制限などの感染予防措置等を行いながら実施可能な取組を進めたものの、県境を越えた移動自粛もあり12項目で未達成となった。

人々の活動がコロナ禍以前に戻りつつある中で、検証内容を基に目標達成に向けて取り組む。

《新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった項目》

- ・子育て支援センター使用指標
- ・イクボス研修講師派遣数
- ・観光客の入込数
- ・県外からの転入者
- ・関係人口の創出拡大を意図するイベント、交流会の開催数
- ・空き家入居世帯数
- ・地域創生チャレンジサポート推進補助金件数
- ・特定健診受診率